

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
新居浜市	本所・金子地区(下・紺屋、石原・前小原、友道、小深、白木前、田所、高木、滝の宮、岩鍋、新須賀、久保田、一宮、西の土居、河内、江口、中新田、新田、東町、西町、泉池、中須賀、政枝、西原)	令和4年3月24日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	69.7 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	49.0 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕地面積の合計	48.2 ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	4.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕地面積の合計	0.2 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12.3 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

本所・金子地区においては、水の条件が良いところが多く、青ねぎ等の露地野菜を始め、トマトやきゅうり等の施設栽培野菜も多い。他地区と比べると鳥獣被害も少なく営農しやすい地区である。また、耕作者の年齢も50～60代が多く、5～10年後には定年後に本格的に農業を始めていく人がおり、農地の受け手は十分である。また、認定農業者は3名であり、今後においても規模拡大の見込みがある。星越・滝の宮ではイノシシ等による鳥獣被害が出ている地域があり、条件の良くない農地も点在している。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在の状況を維持しつつ、担い手がいなくなった農地については、地域の農業者と認定農業者が担っていく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	A	野菜	2.5 ha	野菜	12.8 ha	本所・金子
認農法	B	畜産	-	畜産	-	本所・金子
認農	C	野菜	.0.6 ha	野菜	2.0 ha	本所・金子
集	D	作業受託	4.2 ha	作業受託	4.2 ha	本所・金子
計	4人		6.7 ha		19.0 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

新須賀・田所・八雲町の農用地、また条件の良い農地については今後も地域で守っていく。また、星越・滝の宮ではイノシシ等による鳥獣被害が出ている地域もあることから、対策を進めていく。